



「きれい！」と感じる心に寄り添って

園長 多比良由恵

こどもの森のテラスでは、チューリップの球根やキャベツの苗が、子どもたちから毎日水をもらい、ぐんぐんと生長しています。

先日、4歳児は礪川公園、5歳児は教育の森へ散歩に出掛けました。みんなで「大きい木だね～」と眺めたり、「きれいなはっぱ見つけたよ」と落ち葉やドングリを拾ったりしながら、自然を満喫しました。子どもたちは、拾ってきたドングリや小枝で、ごちそうやオリジナルの飾りを作ったりしています。



〈自然豊かな
教育の森〉

11月21日には、さくら和会主催の『みんなのコンサート』がありました。初めに司会の方から「耳と目と心で楽しんで」「素敵な演奏には“ブラボー！”と声を掛けていいんだよ」と教えていただきました。

フルート、バイオリン、チェロの生演奏やオペラの歌唱を、1歳から5歳までの子どもたち、保護者、教職員のみinnで鑑賞し、芸術にふれ豊かな気持ちになる時間を過ごしました。

その後、保育室に戻った子どもたちは、ブロックと棒でバイオリンを作ったり、合奏で自分の楽器を張り切って演奏したりしていました。子どもたちの心にも、響くものがたくさんありました。

秋から冬への季節、身近な自然や芸術などにふれる機会をもっていきたいですね。子どもが「きれい！」「すてきだね」と感じて表現する心に、そばにいる大人が共感し寄り添いながら、豊かな感性を育てていきましょう。



〈5歳児 自然物を使った
オーナメント〉

保護者、地域の皆様には、2学期も本園の教育活動にたくさんのご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。